

令和 7 年度学校評価報告書

令和 8 年 3 月 2 6 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道留萌高等学校長 瀧 澤 共 喜 印

次のとおり令和 7 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | | |
|---|---|
| 1 | 社会で生きる力の育成 ～「できる」「わかる」の達成感とともに、主体的・対話的で深い学びを保障する学習指導及び評価の充実 |
| 2 | 豊かな人間性と健やかな体の育成 ～ 豊かな情操や道徳心、正義感、責任感、規範意識、他者への思いやりとともに、自己肯定感を育む体験活動の充実 |
| 3 | 機動的な組織の構築と働き方改革の推進 ～ 教員一人一人の持ち味を活かす組織体制とともに、やりがいのある職場環境につなげる研修の充実 |
| 4 | 学びを支える家庭・地域との連携・協働 ～ ふるさとへの誇りや愛着とともに、世界に視野を広げ挑戦するキャリア教育の充実 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
【生徒を繋ぐ】 社会で生きる力の育成 豊かな人間性と健やかな体の育成	○学習指導力の向上 校内研修等を活用し、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善に努めた。 ○生徒指導力の向上 各種アンケート等を活用し、教育相談の充実を図り問題の未然防止、早期発見、早期解決に心がけ適切に対応した。 ○指導と評価の一体化 学習状況調査や学力指標をもとに、指導の改善を行うとともに、学科間の連携を図り指導した。	○習熟度別授業などはより効果的な実施に向け研修に努めてほしい。 ○いじめ対応については、引き続き「見逃しゼロ」となる組織的な対応をしていただきたい。 ○進路指導、実現については手厚く行われている。引き続き生徒の希望実現のために取り組んでほしい。
改善方策	○学習指導力の向上 生徒の実態や地域の要望、各種調査の結果を踏まえ、社会の変化に応じた教育課程の不断の見直しと学習指導の改善を行う。 ○生徒指導力の向上 調査・情報共有を継続し、生徒の小さな変化を見逃すことなく対応する。相談室の環境整備を継続し、相談しやすい体制をさらに目指す。 ○指導と評価の一体化 校内研修をさらに充実させ、授業改善に努めていく。	
【実践を繋ぐ】 機動的な組織の構築	○グループ制の推進 各分掌とも分掌長の指示のもと、業務分担が行われており業務の平準化が図られている。 ○情報共有と連携（研修の計画的実施） 部長・主任・科長間での情報共有はできてきた。研修については、校内研修の実施、各種研修会へも積極的に参加していた。 ○生徒のニーズの反映 教育課程委員会で生徒のニーズを共有し、各教科・分掌で共有してカリキュラムマネジメントを行っている。	○今後も積極的に業務改善を進め、より機動的な組織づくりを推進していただきたい。
改善方策	○グループ制の推進 部長・主任等を中心に、各種業務の情報共有をさらに進め連携を図っていく。また、各種業務の精選を行う。教育課程については委員会と連携して今後も改善していく。 ○情報共有と連携（研修の計画的実施）・生徒のニーズの反映 教育局や関係機関と連携し、効果的な職員研修を計画的に実施する。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
【教職員を繋ぐ】 働き方改革の推進	○職場環境の整備 業務の平準化は、部長・主任等と連携して進めているが、今後も各部署と協力して業務の見える化を進める。 ○働き方改革の推進 欠席連絡のフォーム利用など業務のDX化は進んでいる。変形労働制の積極的な活用等に取り組んだ。 ○服務規律の遵守 不祥事の周知等で服務規律の遵守に努めた。教育公務員として、一人一人の自覚の高揚が図られた。	○今後も働きやすい環境整備に努めていただきたい。勤務時間の縮減のため教職員全体で意見を出し合い業務のスリム化を進めてほしい。
改善方策	○グループ制の定着・情報共有と連携・生徒への反映 働き方改革の一層の推進に向け、ICT機器の活用及び、部長・主任等と連携して各種業務を精査し効率化を図っていく。服務規律の保持については、様々な事例を提示しながら研修を行う。各種業務を精査し今後も連携して一層の職場環境の改善を進める。	
【地域を繋ぐ】 学びを支える家庭・地域との連携・協働	○適切な情報提供 一斉メールを活用し、情報発信が素早く行われた。また、HPの更新も素早く行われた。その他の情報発信の手段においても、適宜行った。 ○関係機関等との連携 今年度も自治体や地域の団体に働き掛けを行い、行事を運営することができた。また、市からの支援もあり、様々な活動を例年以上に充実することができた。 ○説明責任の履行 計画通り保護者説明会を進学・就職ともに、外部の方にも参加いただき実施できた。	○今後とも学校運営、生徒の様子等の情報発信をお願いしたい。
改善方策	○適切な情報提供・説明責任の履行 情報発信手段の精査を行い、発信内容に応じて発信手段を見極め、より効果的に学校の取組や生徒の様子を発信したい。 ○関係機関等との連携 家庭・地域・学校とのつながりを今後も大切にし、様々な活動を実施していきたい。さらに、自治体や地域の団体にも働き掛けを行い、今後も協力を仰ぎたい。	
公表方法	・PTA総会等で保護者に公表 ・学校ウェブページでの公表 ・学校運営協議会で公表	